

# 城崎・港地域 第6回地域デザイン懇談会 結果まとめ

【第6回の開催概要】

令和3年12月6日（月）19：00～

会場：城崎振興局

第6回の参加者：16名

# 第6回地域デザイン懇談会の結果 【当日の会場の様子】



会場全体の様子



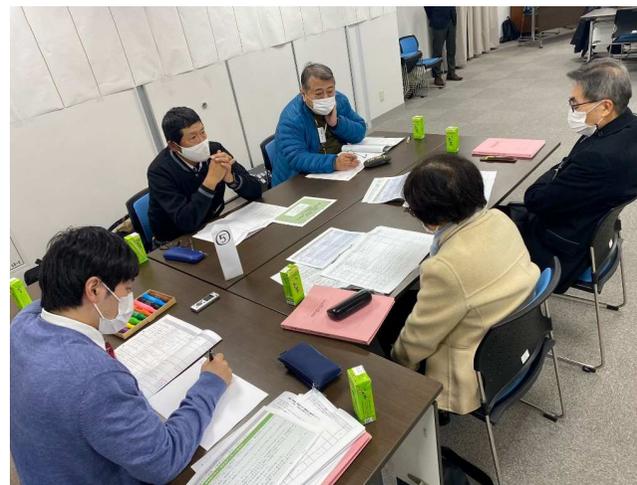
各テーブルの様子



各テーブルの様子



各テーブルの様子



各テーブルの様子



会場の様子

# 第6回地域デザイン懇談会の結果 【テーブルワーク】①

これまでに考えた施設再編のアイデアに対するまとめをした。

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	施設再編のアイデア	まとめの一文
大分類	中分類				
01行政系施設	01庁舎等	城崎振興局	近くて便利   港からは近い 駐車場が狭い 福祉関係の相談がしやすい 災害時に役に立つ	健康福祉センターと市民センターを統合し、城崎振興局に集約	
	03消防施設	城崎分署	豊岡より早く来てくれる 港・城崎協力して来てくれる		
02市民文化系施設	04公民館	城崎地区 コミュニティーセンター	城崎と港地区は風土・経済・気質等が異なる		・公民館はそれぞれの場所に絶対残す。
	04公民館	港地区 コミュニティーセンター	コミュニティ組織 →部が6つもあって事業をしているのはよい 災害時に避難するには良い施設 トイレも空調もよい 港西地区からは車がないと来れない 港西は港東に行かないぞというプライドがある		
	06文化施設	城崎市民センター			・これまで作り上げてきたものを引き継げる民間、または県大へ譲渡する。
	06文化施設	城崎国際アートセンター	住民の施設利用料が高い(アーティストはただ) 歩いて行けてクオリティの高いものが観られる 一般の人が利用しにくい 経済的には意味がありそう 元々は、県が市に委託した施設 舞台の奥行きが狭い	市民センターは健康福祉センターと統合し振興局へ集約する アートセンターは県大へ譲渡	
03社会教育系施設	07図書館	図書館城崎分館	子どもにとってはよいが、大人にとっては本が少ない	麦わら細工伝承館を文芸館に集約する (もともと文芸館にあったため)	・博物館・資料館は一つに集約し、10健康福祉施設も現行の業務内容では施設が大きすぎるため、健康福祉施設に集約する。 ・歴史、伝統と地域の特性を学べる施設へ。 ・文化的価値は残したい(集約しない)
	08博物館・資料館	城崎文芸館	オシャレ。初めて来た人は楽しめる。 イベントをやると集客できる。	文芸館に麦わら細工伝承館、図書館を集約する	
	08博物館・資料館	城崎麦わら細工伝承館	地元の人のためにも展示に工夫を	文芸館に麦わら細工伝承館、健康福祉センターを集約する	
	09社会教育系施設	ハチゴロウの戸島湿地	無料でいつでも見られる。職員が二人いる。 小学校3年生が学校で通う。	民間に譲渡する	
04保健・福祉施設	10健康福祉施設	城崎健康福祉センター	福祉の窓口 町内にあるのが大事   市民には必要 エアコンが壊れて3階が使えない お風呂が使えない   デイサービスがなくなった 円山川が生かせる	文芸館に集約 市民センターと統合し振興局へ集約	・現行の業務内容では施設が大きすぎるため、08博物館・資料館を一つに集約し、この施設の中に集約する。 ・福祉施設は一つであるべき。
06スポーツ・レク施設	16スポーツ施設	城崎ボートセンター	ボート用の室内練習場がある 市民利用可   中学校にボート部がある ポテンシャルはある   維持管理が負担	県に譲渡する	・県が費用負担をして市が指定管理を受けることにより、ボートのまちが維持できる ・メーカーに任せる(ボート)
	18温泉施設	城崎温泉交流センター	民業を圧迫しないようにする必要がある	民間に譲渡する 民業圧迫から民民で競争してよい施設に	・民間の自由な発想で経営するのがベター

# 第6回地域デザイン懇談会の結果 【テーブルワーク】②

これまでに考えた施設再編のアイデアに対するまとめをした。

公共施設の分類		施設名称	議論に至った背景・理由 (利用状況など)	施設再編のアイデア	まとめの一文
大分類	中分類				
07産業系施設	19産業系施設	木屋町小路	ベンチや広場はパブリックな場所であり店舗がかわる。人が入っていないスタートアップの小さいお店が集まっている	民間に譲渡する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元業者に売却する。</li> <li>・民間事業者へ譲渡し、民間のノウハウを活かすことで家族連れや若者など多様な人に向けた自由なアイデアで施設運営することを目指す。</li> <li>・木屋町小路は、城崎の魅力を観光者へ向けて情報発信してくれる商業施設として民間に任せる。</li> </ul>
	20環境関連施設	豊岡市エコハウス	環境モデルハウスだが知っている人が少ない 移住したい人が借りられる 市民にも観光にも微妙	民間に譲渡して上手に活用する 廃止する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業に特定して売却し、上手に活用してもらう。目的は環境関連にこだわらない。</li> <li>・隣のランプさんに使ってもらう。</li> <li>・民間または県に譲渡して、学生のためのシェアハウスとして活用。</li> <li>・建物の価値はあるので、民間に上手に活用してもらいたい。</li> </ul>
08学校教育系施設	21中学校	城崎中学校	身近なところで育てたい 地域の拠点でもある	城崎と港の小中学校をそれぞれ一貫校にする 港中学校と城崎中学校を統合する 港小学校と城崎小学校を統合する 城崎中学校と港中学校を豊岡市北中へ統合する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当は地元がこのまま残してほしいが、先日の教育委員会の方針に同意する。(予定：6年後に中学校、10年後に小学校統合の説明があった)</li> <li>・子どもが少なくなっていく中で、学校の数を減らすことはやむを得ない。</li> <li>・地域に学校を残すことで郷土愛がはぐくまれ、将来地域を担う子どもを育てる</li> <li>・子どものより良い成長・教育のことを第一に考える。</li> <li>・統合に向かってしまうのはやむを得ないが、地域の文化的施設であるので慎重に市民の意見を聞く必要がある。</li> <li>・豊岡への統合を考えつつ、港中と城崎中は統合する。小学校は地域に一つは必要。</li> <li>・港、城崎それぞれ一貫校にして残す。</li> </ul>
	21中学校	港中学校	生徒が少なくて部活の選抜がほとんどできない 津波の避難所		
	22小学校	城崎小学校			
	22小学校	港西小学校	長い歴史があり愛着がある 体育館も新しく校舎も使えるので、港西地区住民の交流の場として活用してほしい 避難所として活用したい		
	22小学校	港小学校			
09子育て支援施設	26こども園	港認定こども園	港西にあればよかった		
	27放課後児童クラブ	港東・港西放課後児童クラブ			
	28その他子育て支援施設	城崎子育てセンター			
10公営住宅	28公営住宅	元薬師1号住宅	空きが多い セーフティネットなので必要	津居山住宅は、入居者がいなくなったら建て替えをしない 目標の2/3へ集約する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しめの公営住宅に集約する。</li> <li>・空き家を活用して、市営住宅の入居者を減らしていく。</li> <li>・入居者が極端に少ないことが問題。新しい住宅に集約することにとどまらず、利便性の高い、入居率を高められる公営住宅を目指す。</li> </ul>
	28公営住宅	元薬師2号住宅			
	28公営住宅	内島住宅			
	28公営住宅	結1号住宅			
	28公営住宅	結2号住宅			
	28公営住宅	上山住宅			
	28公営住宅	上山2号住宅			
	28公営住宅	円山住宅			
28公営住宅	津居山住宅				